

参議院選挙で審判を！「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2013年7月5日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## TPP・規制緩和で 医療やすらし、労働も大変に

釧路と室蘭で 「TPPでどうなる？日本の医療」学習会 開く

各地で、TPPについて、医療をはじめとした非関税障壁の撤廃による影響についての学習会が開かれています。6月29日、釧路社保協は、全国保険医団体連合会の寺尾正之氏を講師に「TPPでどうなる？日本の医療」と題した講演会を行いました。7月2日には、西胆振社保協（室蘭）でも学習会が行われ、混合診療の拡大につながるTPP参加阻止と規制緩和をやめさせる上でも、参議院選挙のとりのくみを確認しあいました。

**釧路** アメリカの保険・製薬業界がTPP推進 市医師会・歯科医師会・薬剤師会が後援



釧路社保協の講演会は、釧路市医師会・歯科医師会・薬剤師会が後援し、当日は50名余りが参加し、農民連からの挨拶、JA幹部からの発言もありました。

講師の寺尾氏は、アメリカの医療制度について、公的皆保険制度がなく、国民は民間の医療保険に加入し保険料の額によって受けられる医療の範囲が決まること、約5千万人が無保険であることを紹介。「日本の公的医療保険は37兆円。アメリカの民間保険会社にとって“魅力的な巨大マーケット”です」とアメリカ通商代表部の日本への要求の意図を説明しました。

アメリカの医薬品の価格は世界一高く、TPPで医薬品の特許保護強化などのルールが持ち込まれれば、患者負担増は避けられません。また、アメリカでは新しい治療法なども特許で独占されています。TPPに参加すれば先進医療は保険外に固定化される可能性が高く、公的医療保険の範囲が狭まり、混合診療の拡大につながります。

民間医療保険が幅を利かせることになりませんが、加入できるのは一部の高所得者だけです。寺尾氏は「貧富の差が受けられる医療の差になり、国民皆保険が形式的に残っても、実質的には機能しなくなる危険性が高い」と強調しました。さらに、営利企業の病院経営参入やISD条項を説明し、「医療分野でTPPを推進しているのはアメリカの保険会社と製薬会社で、公的医療保険を縮小することで利益を得る業界だ」と指摘しました。

寺尾氏は、最後に「とんでもない内容を白日のもとにさらす『ドラキュラ作戦』で、雲散霧消させましょう。全体と個別課題の両面からTPPノーの声を上げ、医療・消費者団体などの共同を発展させましょう」と呼びかけました。（釧路社保協ニュースより）

## 混合診療の拡大、解雇などの規制緩和も 選挙の争点

昨日から始まった参議院選挙では、TPPへの参加も大きな争点ですが、TPP参加の有無に関わらず、財界の意向を受けて、混合診療、労働法制の緩和など「規制緩和」をすすめることを公約に掲げる勢力があります。緩和しようとしている「規制」は、国民の命やすらし、地域経済を守るためのルールです。改悪の内容やその影響も伝え、規制緩和勢力をうち破りましょう。



みんなの党、日本維新の会は、「混合診療解禁」を選挙公約 自民党は保険外併用療養費制度の拡大

反貧困ネット北海道の公開質問 各政党の回答から 回答順

	共産党	民主党	維新の会	大地	社民党	公明党	みんなの党	自民党
派遣労働の規制強化	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	反対	保留
登録型派遣の原則禁止	賛成	賛成	反対	保留	賛成	賛成	反対	保留
金銭解雇の導入	反対	反対	賛成	反対	反対	反対	賛成	反対

各政党HPなどから	共産党	民主党	維新の会	大地	社民党	公明党	みんなの党	自民党
TPP参加	阻止	参加	参加	反対	反対	参加	推進	参加

\* 政党の順序は、反貧困ネットに合わせました。